対　談
書店フリペにおける「猫」の役割などについて。
その2
ねこ村（TSUTAYA 寝屋川駅前店）
でんすけのかいぬし（セントポールプラザ書籍店）

●プロフィール

ねこ村さん・・・TSUTAYA 寝屋川駅前店（大阪府寝屋川市）に勤務。文庫紹介のフリーペーパー「ぶんこでいず」を毎月１回発行。「A4 判の用紙、裏表両面に、新刊情報、というか、本への愛が、隅から隅まで、一分の隙もなくあふれんばかりに、というかあふれ気味にぎっしり。絵・文とも、描き込みぶりとかけられた熱量がすごくて、毎号、ひと通り目を通し終わるころにはすっかり圧倒されている。店内の棚にスペースを設け、フリペで紹介した本を並べるなど、売り場との連動も忘れない。現在流通している新刊書店フリペのうち、筆者が知るもののなかでは、もっとも「熱い」１枚。」（洋泉社発行『本屋へ行こう！』内特集「書店員がつくるフリーペーパーがおもしろい！」から、ライター・編集者の空犬太郎氏の紹介記事から引用）

でんすけのかいぬしさん・・・セントポールプラザ書籍店（東京都）に勤務。猫の「でんすけ」氏をメインキャラクターとしたフリーペーパー、「本屋でんすけ にゃわら版」を毎月１回発行。「素人の余技とは思えない描き文字やイラストの腕を、フリペにふるう美術系書店員（造語）は書店界に少なくないが、でんすけ氏もその一人。イラストや描き文字のクオリティと、切り取ればそのまま POP に使えるバランス感覚抜群のデザインのフリペは、一度目にしたら忘れられない。読み上げるとわかる語呂のいいタイトルも秀逸だ。でんすけ氏に、あちこちの版元から、販促物用イラストの声がかかっているのも当然と思える。フリペ界に現れた新星。」（前出同誌・空犬太郎氏紹介記事から引用）

・・・